

防犯活動に取り組む皆さんが 表彰を受けられました

10月1日(土)、「なくそう犯罪」滋賀安全なまちづくり県民大会がひこね市文化プラザで開催され、地域で永年にわたり防犯活動に力を注いだ団体や個人に対する表彰が行われました。

日野町からは、日ごろの継続的な活動が認められ、東桜谷地区安全なまちづくり協議会が「なくそう犯罪」滋賀安全なまちづくり大賞を、個人表彰では、村島茂男さん(必佐地区安全なまちづくり協議会会長)が全国防犯功労

者栄誉銅章を、森田貞夫さん(日野地区安全なまちづくり協議会会長)が滋賀県防犯協会会長表彰を受賞されました。

今後とも、地道な活動を継続すること、地域の絆をより強固なものにし、みんなが安心・安全を実感できる「犯罪の起こりにくい社会づくり」の推進にご協力をお願いします。

受賞おめでとうございます。



▲受賞された東桜谷地区安全なまちづくり協議会会長の吉川茂さん(上段右から1人目)



▲受賞された村島茂男さん(右から1人目)



▲受賞された森田貞夫さん(左から3人目)

感雑向綿

日野町長 藤澤直広

コスモスの花が揺れています。稲の収穫が終わった田圃では、麦まきが始まりました。今年は、たくさん集落で鉄製の獣害防止ネット

ち込まれ、自由価格で提供されるようになれば、本当にお金がなければ医療が受けられない時代がやってきます。最終的には国民皆保険の崩壊につながりかねない面もあると懸念される」と「警告」を発しています。なんでもかんでも「自由競争」「市場原理」に任せればいいという「神話」が崩れたことは「リーマンショック」で明らかです。

フェンスの設置に取り組んでいたといえます。米や麦の価格が安いとはいえ生産し、収穫すること喜び、大切にされていることをうれしく思います。「食の安全・安心」は何よりも大切です。

ところが、政府は、日本の農林漁業に壊滅的な打撃を与えるTPP(環太平洋経済連携協定)に参加しようとしています。TPPは、関税を原則撤廃し農産物の輸入を完全自由化するもので、今でも低い食料自給率がさらに下がることとなります。また、TPPは、暮らしと経済のあらゆる分野が対象となり「自由貿易」の名のもとに「非関税障壁の撤廃」が押し付けられます。例えば医療分野も例外ではありません。日本医師会は「TPPへの参加によって、日本の医療に市場原理主義が持

ち込まれ、自由価格で提供されるようになれば、本当にお金がなければ医療が受けられない時代がやってきます。最終的には国民皆保険の崩壊につながりかねない面もあると懸念される」と「警告」を発しています。なんでもかんでも「自由競争」「市場原理」に任せればいいという「神話」が崩れたことは「リーマンショック」で明らかです。

今、アメリカ各地で「1%の富裕層ではなく99%の国民の声を聞け」とデモや集会が行われています。「医療も教育もなんでも力次第」、格差や貧困が広がり、高い失業率が続くアメリカ社会の歪みが背景にあります。そして、そうした社会を「チェンジ」できない政治に怒りが高まっています。そして、そうしたアメリカのやり方を真似ようとする日本の政治は「チェンジ(政権交代)」の公約を投げ捨てて、古い政治に逆戻りしています。

東日本大震災から8か月が過ぎようとしています。3・11を契機に、めざす社会は、「経済至上主義」ではなく「強いもん勝ち」ではなく誰もが幸せになる社会です。